

I. 本業務の目的

近年、海外から人為的に導入した外来生物が、我が国の生物多様性に対する大きな脅威となっている。このため、生態系等に被害を及ぼす又は及ぼすおそれのある外来生物を適正に管理するとともに、既にまん延して被害を及ぼしている外来生物については防除を促進することにより、その被害を防止することを目的とした「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（以下、「外来生物法」という。）が平成 17（2005）年 6 月に施行され、本法に基づき、生態系等へ被害を及ぼしているか及ぼすおそれのある「特定外来生物」の輸入規制や適正な管理の実施、野外での防除をすすめているところである。また、生態系等へ被害を及ぼすおそれがあるかどうか判定されていない外来生物を「未判定外来生物」に指定して輸入を規制するとともに、それらと区別が難しい生物については、各国の政府機関等により発行された種類名証明書等の添付を義務づけ、輸入時に確認を行っている。

平成 22 年には本法が施行されてから 5 年を迎え、法の施行状況について検討の事務作業を進めており、平成 23 年度には、過去の防除事業の実績評価とこれを踏まえた防除における優先度の考え方及び今後の防除事業の実施方針に関する検討並びに、生態系に対する影響等の科学的知見に基づいた外来種リストの作成に関する検討を行った。これらの検討において、平成 25 年度中に外来種全般に関する総合戦略としての「外来種被害防止行動計画（仮称）」及び「侵略的外来種リスト（仮称）」の策定をすることとしている。さらに、本年度は、外来生物法点検のための審議会の開催等が行われた。

本業務は、特定外来生物等の侵入実態及び防除・管理に関する国内外の科学的知見や情報の収集・整理、外来生物に係る情報収集、今後の外来生物対策のあり方の検討に係る評価・分析等を行うことにより、科学的かつ効率的な外来生物対策の推進に資することを目的とした。

II. 業務内容

1. 外来生物の侵入実態等に関する情報収集等

外来生物の国内への侵入実態を把握し、外来生物の適正な管理及び侵入予防に資するため情報を収集し、整理した。

（1）外来生物導入・定着の実態把握及び初期対応

水際や野外等で発見された特定外来生物と疑われた生物について、迅速で詳細な同定を行った。また、侵入・定着するおそれが特に高い物資の流通量の多い港湾や空港等を中心に、モニタリング調査や現地関係者に対する防除に向けた助言を行った。

1) 外来生物の同定

港湾や空港にて検疫時に発見されたり、野外やネットオークション等に出品されたりするなどして市民等からの通報のあった特定外来生物の疑いのある生物については、速やか

な種同定と殺処分等の対応が重要である。そのため、外来生物の同定支援窓口（ASIST:Alien Species Identification Support Team）を設定し、専用のメーリングリストと夜間・休日でも対応可能な専用携帯電話を配備して、種の同定依頼に対応できる支援システムの体制を構築した。同定支援には各分類群に精通した担当者及び必要に応じて外部専門家のネットワークを活用した同定作業を実施した。

平成 24 年度業務における同定依頼件数は、合計 50 件で、その内訳は哺乳類 1 件、爬虫類 7 件、両生類 4 件、昆虫等陸生節足動物 5 件、昆虫等陸生節足動物（クモ・サソリ類）20 件、陸生節足動物を除く無脊椎動物（甲殻類）1 件、植物 12 件であった（図 1）。このうち、特定外来生物が 20 件（哺乳類 1 件、爬虫類 1 件、両生類 1 件、昆虫等陸生節足動物 2 件、昆虫等陸生節足動物（クモ・サソリ類）6 件、植物 9 件）、未判定外来生物が 2 件（両生類 1 件、昆虫等陸生節足動物（クモ・サソリ類）1 件）、種類名証明書の添付が必要な生物以上が 3 件（植物 3 件）認められた。

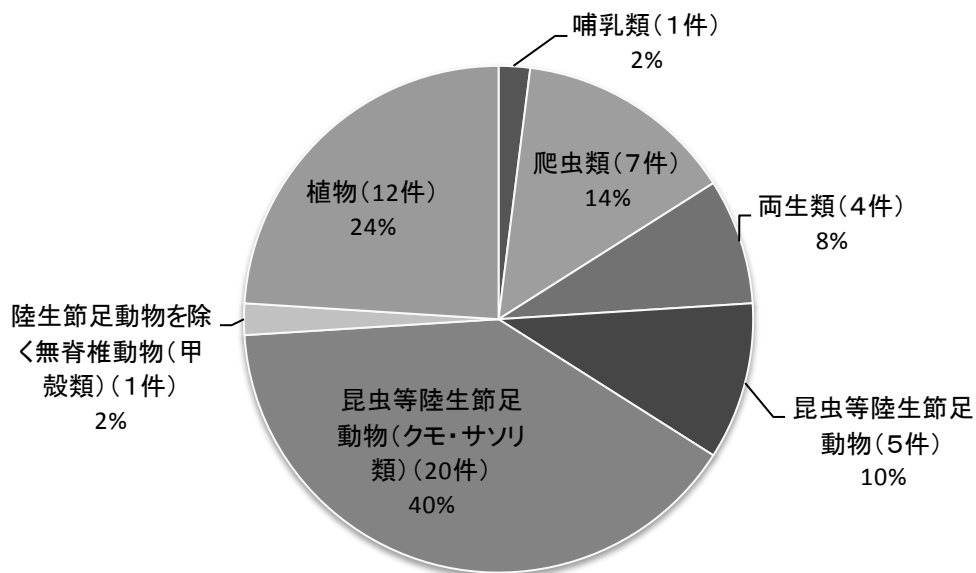


図 1 同定依頼に対応した分類群の内訳

以下に、依頼のあった生物（50 件）に対する同定支援内容（発見場所・付着物、流通経路、発見状況、依頼元、依頼方法、同定者、判明種、法律上のカテゴリ、事後対応等）の概要を示す。なお、著作権上の扱いが難しい一部の写真等については、本報告書への掲載を控えた。

【哺乳類】

1. アメリカミンク *Mustela vison*

対応開始日	2012年10月16日
発見場所・付着物	路傍（北海道帯広市内）
流通経緯	野外分布
発見状況	10月15日、道路脇にうずくまっていた本種を一般の方が見つけ、フェレットだと思い動物病院に連れてきた。動物病院で確認したところ、アメリカミンクである可能性があったため、環境省北海道地方環境事務所に相談があった。
依頼元	発見者（一般個人）→動物病院→環境省北海道地方環境事務所
依頼方法	写真と検体（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	アメリカミンク <i>Mustela vison</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	特定外来生物アメリカミンク <i>Mustela vison</i> とする同定結果を環境省北海道地方環境事務所に報告した。
備考	写真からは、全身が黒褐色の毛色であることや、顎に白斑がみられるなど、アメリカミンクの特徴が確認された。 また、事前に確認頂いた歯式 C 1 / 1 P 3 / 3 M 1 / 2 から、P 4 / 4 のクロテンではないことが確認された。

依頼元からの資料



【爬虫類】

2. ホオグロヤモリ *Hemidactylus frenatus*

対応開始日	2012年5月22日
発見場所・付着物	成田国際空港第1旅客ターミナル（千葉県成田市三里塚御料牧場1-1） 到着航空機荷室内
流通経緯	タイ王国（スワンナプーム国際空港（バンコク））（5/22発地）→日本 （成田国際空港）（5/22到着）（空路）
発見状況	22日の14時頃、成田国際空港の第1旅客ターミナルにバンコクから到着した航空機の荷室内において生きた状態の1個体が発見された。
依頼元	東京税関成田税関支署→環境省成田自然保護官事務所→環境省関東地方環境事務所
依頼方法	写真及び検体（生体）
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	ホオグロヤモリ <i>Hemidactylus frenatus</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	外来種ホオグロヤモリ <i>Hemidactylus frenatus</i> とする同定結果と、外来種ではあるが特定外来生物等には該当しないことを環境省関東地方環境事務所へ報告した。
備考	メス成体（腹部に卵（2卵）を持っている）

依頼元からの資料



3. オカアリゲータートカゲ *Elgaria multicarinata*

対応開始日	2012年6月15日
発見場所・付着物	羽田空港 機体整備用格納庫通路（東京都大田区羽田空港） 付着物は不明
流通経緯	不明
発見状況	6月14日の15時頃、上記の格納庫を点検していた委託会社社員が当該場所で移動している本個体を発見し、捕獲した
依頼元	発見者（企業）→環境省関東地方環境事務所
依頼方法	写真及び検体（生体）
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	オカアリゲータートカゲ <i>Elgaria multicarinata</i> または類似種（外来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	外来種オカアリゲータートカゲ <i>Elgaria multicarinata</i> またはその類似種とする同定結果と、外来種ではあるが特定外来生物等には該当しないことを環境省関東地方環境事務所へ報告した。
備考	雌成体と考えられる。再生尾を有する。

依頼元からの資料



4. カリフォルニアキングスネーク *Lampropeltis getulus californiae*

対応開始日	2012年7月2日
発見場所・付着物	民家敷地内の階段部分（福岡県太宰府市水城）
流通経緯	不明。おそらくペットとして飼育されていたものと考えられる。
発見状況	7月2日の正午頃、この民家に住む女性が階段にヘビがいるのを発見し太宰府市に連絡。市の職員が捕獲して、警察に届けた。
依頼元	福岡県→環境省九州地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	カリフォルニアキングスネーク <i>Lampropeltis getulus californiae</i> アルビノ個体（外来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	外来種カリフォルニアキングスネーク <i>Lampropeltis getulus californiae</i> アルビノ個体とする同定結果と、外来種ではあるが特定外来生物等には該当しないことを環境省九州地方環境事務所へ報告した。
備考	熊本日日新聞朝刊（2012年7月3日付け）にヘビ発見の記事が掲載された。

依頼元からの資料



5. ホオグロヤモリ *Hemidactylus frenatus*

対応開始日	2012年7月17日
発見場所・付着物	名港海運(株)金城ふ頭保税上屋(愛知県名古屋市港区金城ふ頭1-1)コンテナ内(バルブ 58P/G) 生産地:タイ王国
流通経緯	タイ王国(LAEM CHABANG(レムチャバン港))(6/29出港)→名古屋港NCB(7/19入港)(海上輸送)
発見状況	バルブ 58P/G(外装荷姿:スチールBOX)を運搬したドライ・コンテナに混入。7/17貨物を全てコンテナから出した後、コンテナ内の清掃中、コンテナ内、奥の壁際に1個体を発見した。
依頼元	名港海運(株)金城物流センター→名古屋税関業務部通関総括第2部門→環境省中部地方環境事務所
依頼方法	写真及び検体(生体)
同定者	(一財)自然環境研究センター
判明種	ホオグロヤモリ <i>Hemidactylus frenatus</i> (外来種)
法制上のカテゴリ	—
事後対応	外来種ホオグロヤモリ <i>Hemidactylus frenatus</i> とする同定結果と、外来種ではあるが特定外来生物等には該当しないことを環境省中部地方環境事務所へ報告した。
備考	雄成体(頭胴長45.3mm, 尾長53.4g, 体重1.4g)。

依頼元からの資料



6. ニホンヤモリ *Gekko japonicus*

対応開始日	2012年9月19日
発見場所・付着物	函館港港町ふ頭（北海道函館市港町） コンテナ内（船舶用部品（窓））
流通経緯	大韓民国（釜山（BUSAN：ブサン港））（9/6・20時00分出港）→函館港港町ふ頭（9/8・11時45分入港） コンテナはそのまま函館港に蔵置され、荷物の搬出は9月15日
発見状況	9/15の8時30頃、函館港の港町ふ頭コンテナヤードに釜山から到着した船舶（名称・STAR PIONEER、9,520トン）から下ろされたコンテナの入口付近において生きた状態で発見された。コンテナに積まれていた貨物は船舶用の窓であり、貨物の搬出後に見つかった。この個体は活発で、周囲に他の個体は見当たらなかった。
依頼元	横浜植物防疫所札幌支所函館出張所→環境省北海道地方環境事務所
依頼方法	写真及び検体（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	ニホンヤモリ <i>Gekko japonicus</i> （おそらく外来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	日本にも生息している種であるニホンヤモリ <i>Gekko japonicus</i> とする同定結果と、外来種ではあるが特定外来生物等には該当しないことを環境省北海道地方環境事務所へ報告した。
備考	捕獲個体は、同定用の撮影を行ったのち、殺処分された。体サイズ及び総排泄孔周辺の形態から、若い雄個体と考えられた。

依頼元からの資料



7. ホオグロヤモリ *Hemidactylus frenatus*

対応開始日	2013年1月28日
発見場所・付着物	成田国際空港南部第3・第4貨物ビル（千葉県成田市成田国際空港内） 航空便貨物の内部
流通経緯	タイ王国（スワンナプーム国際空港（バンコク））（1/25 発地）→日本 （成田国際空港）（1/25 到着）（空路）
発見状況	貨物取扱業者職員が、南部第3・第4貨物ビル内で貨物の解体作業を行 っていたところ、貨物の隙間から生きた状態で1個体を発見し捕獲し た。
依頼元	貨物取扱業者職員→環境省成田自然保護官事務所→環境省関東地方環 境事務所
依頼方法	写真と検体（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	ホオグロヤモリ <i>Hemidactylus frenatus</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	外来種ホオグロヤモリ <i>Hemidactylus frenatus</i> とする同定結果と、外来 種ではあるが特定外来生物等には該当しないことを環境省関東地方環 境事務所へ報告した。
備考	—

依頼元からの資料



8. カミツキガメ *Chelydra serpentina*

対応開始日	2013年2月4日
発見場所・付着物	ウェブサイトによる写真画像の公開
流通経緯	不明（国内で違法飼育されている個体の可能性あり）
発見状況	環境省への通報による。
依頼元	発見者（一般個人）→環境省中国四国地方環境事務所→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	カミツキガメ <i>Chelydra serpentina</i> （外来種） （ホクベイカミツキガメ、フロリダカミツキガメ、チュウベイカミツキガメ、ナンベイカミツキガメのいずれの亜種であるかは不明）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	特定外来生物カミツキガメ <i>Chelydra serpentina</i> とする同定結果を環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室に報告した。
備考	アルビノ個体の画像であった。

【両生類】

9. タイワンシロアゴガエル *Polypedates megacephalus*

対応開始日	2012年6月20日
発見場所・付着物	一般企業工場敷地内（福島県郡山市） 荷卸しの終えた40FTコンテナ内（RETUNABLE PALLET 61PACKAGES）
流通経緯	タイ王国（LAEM CHABANG（レムチャバン港））（6／9出港）→東京港青海コンテナふ頭（6／18入港）（海上輸送）→福島県郡山市内の工場（6／20到着）（トラックによる陸送）
発見状況	積荷の宛先である工場において、6月20日13時50分頃、40FTコンテナの輸入品を荷降ろししてから清掃をしていたところコンテナ内部の奥に異物を感じたが、暗くて見えなかったため、コンテナ出入り口付近まで掃き出したところ、カエルの死骸を1個体分を発見した。
依頼元	発見者（一般企業社員）→環境省東北地方環境事務所
依頼方法	写真及び検体（死体）
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	タイワンシロアゴガエル <i>Polypedates megacephalus</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	未判定外来生物
事後対応	未判定外来生物タイワンシロアゴガエル <i>Polypedates megacephalus</i> とする同定結果を環境省東北地方環境事務所へ報告した。
備考	京都大学の倉石氏（シロアゴガエル類の分類専門家）へ同定を依頼した。形態及び遺伝的な同定により種を確定していただいた。なお、本検体は京都大学にて標本として保存されることとなった。

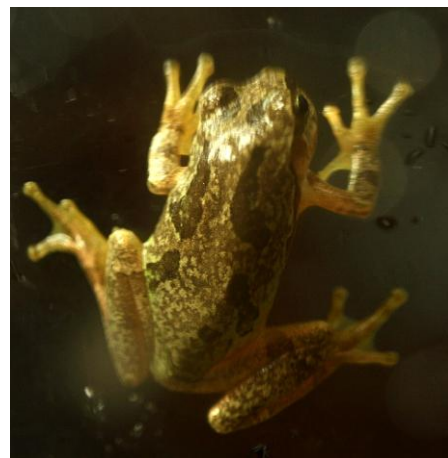
依頼元からの資料



10. アマガエル属の一種 *Hyla* sp.

対応開始日	2012年9月13日
発見場所・付着物	金属加工会社敷地内（千葉県） 輸入した金属切断部品の梱包木箱内（大きさ2m×1.7m×1.2m）
流通経緯	アメリカ合衆国（ニューハンプシャー州ハノーバー）（出発不明）→ 日本（成田国際空港）（到着不明）（空路）
発見状況	アメリカ東海岸地域から輸入した荷物の中に混入していた1個体を発見し捕獲した。
依頼元	発見者（一般個人）→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真及び検体（生体）
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	アマガエル属の一種 <i>Hyla</i> sp.（在来・外来不明）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	アマガエル属の一種 <i>Hyla</i> sp. とする同定結果と、外来種であったとしても特定外来生物等には該当しないことを環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室へ報告した。
備考	—

依頼元からの資料



11. ヘリグロヒキガエル *Bufo melanostictu*

対応開始日	2012年11月8日
発見場所・付着物	名古屋港鍋田ふ頭 NUCT（愛知県海部郡弥富町富浜） リーファー・コンテナ内（観葉植物：ユッカ 27,850本）、生産地：ホンジュラス
流通経緯	ホンジュラス共和国（CORTES（コルテス港））（9/13以降に出港）→名古屋港鍋田ふ頭（11/7入港）（海上輸送）
発見状況	観葉植物のユッカ 27,850本を積載したリーファー・コンテナ内部に混入していた1個体を発見した。
依頼元	名古屋植物防疫所→名古屋税関→環境省中部地方環境事務所
依頼方法	写真及び検体（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	オオヒキガエル <i>Bufo marinus</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	特定外来生物オオヒキガエル <i>Bufo marinus</i> とする同定結果を環境省中部地方環境事務所に報告した。発見個体はサンプルとして、処理業者より自然環境研究センターへ送付された。
備考	分布域及び耳腺（眼の後方にある毒腺）の形状などから同定。混入個体は性別不明の幼体。 頭胴長 75.1mm、手腕長 36.9mm、脛長 30.3mm、頭幅 27.5mm、体重 34.1g。

依頼元からの資料



12. アカガエル科の一種 Ranidae sp.

対応開始日	2013年2月8日
発見場所・付着物	名古屋港鍋田ふ頭 NUCT（愛知県海部郡弥富町富浜） コンテナ内（観葉植物：ドラセナ 79,000 本、ラピス 500 本、ランの苗 5,000 本）、生産地：広東省順徳
流通経緯	中華人民共和国（蛇口（SHEKOU：シェコウ港））（2 / 3 出港）→名古屋港鍋田ふ頭（2 / 6 入港）（海上輸送）
発見状況	名古屋植物防疫所の輸入検査中、コンテナ内から1個体が飛び出してきた。個体の大きさは約5～6cmと思われた。
依頼元	名古屋植物防疫所→名古屋税関→環境省中部地方環境事務所
依頼方法	写真と検体（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	アカガエル科の一種 Ranidae sp.（外来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	外来種アカガエル科の一種 Ranidae sp. とする同定結果と、外来種ではあるが特定外来生物等には該当しないことを環境省中部地方環境事務所へ報告した。
備考	発見個体は冷凍標本として、処理業者より自然環境研究センターへ送付。

依頼元からの資料



【昆虫等陸生節足動物（昆虫類）】

13. セスジドウナガテナガコガネ *Euchirus dupontianus*

対応開始日	2012年6月8日
発見場所・付着物	インターネットHP上
流通経緯	一般の方よりテナガコガネの飼育・販売をしているところがあるとの通報があった。
発見状況	HP上に過去、飼育していた記録（2007年11月より2009年1月にかけて）と販売していた記録が残されていた。販売していたページの紹介文を見ると、特定外来生物であること知っており、その旨も記述していた。
依頼元	発見者（一般個人）→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	セスジドウナガテナガコガネ <i>Euchirus dupontianus</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	特定外来生物セスジドウナガテナガコガネ <i>Euchirus dupontianus</i> とする同定結果を環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室へ報告した。その後、警察に連絡を行った。
備考	—

14. アカカミアリ *Solenopsis geminata*

対応開始日	2012年7月24日
発見場所・付着物	横浜港大黒ふ頭（神奈川県横浜横浜市鶴見区） コンテナ内（コーヒー豆 825袋（56,925kg））
流通経緯	メキシコ合衆国（Manzanillo（マンザローニ港））（6/10出港）→横浜港大黒ふ頭（7/22入港）
発見状況	グアテマラ産コーヒー豆（生）56,925kg（825袋）を積載したコンテナの内部で発見された。コンテナの戸口に群がるように多数の個体が確認された。女王成虫は確認できなかったが、蛹（さなぎ）が確認され、その中にはワーカーの蛹と女王の蛹が認められた。
依頼元	横浜植物防疫所→環境省関東地方環境事務所
依頼方法	写真及び標本
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	アカカミアリ <i>Solenopsis geminata</i> （外来生物）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	特定外来生物アカカミアリ <i>Solenopsis geminata</i> とする同定結果を環境省関東地方環境事務所に報告した。
備考	輸入業者による自主的な燻蒸を依頼し、7月28日に臭化メチルによる燻蒸が実施された。8月3日に関東地方環境事務所により、燻蒸後の確認を行った際には個体は確認されなかった。

依頼元からの資料



発見場所



蛹(上:女王 下:働きアリ)



成虫:兵隊アリ



成虫:働きアリ

15. アミメアリ *Pristomyrmex punctatus*、トビイロシワアリ *Tetramorium tsushimae*

対応開始日	2012年8月13日
発見場所・付着物	民家敷地内の庭部分（愛知県あま市七宝町）
流通経緯	野外分布
発見状況	小売店で購入したキュウリの苗を植えた付近に大量のアリが認められ、殺虫剤（スミチオン）を散布したが、それ以外の場所からも多くのアリが発見されたため、アルゼンチンアリではないかとの疑いから確認依頼があったもの。
依頼元	発見者（一般個人）→あま市市民生活部環境衛生課→環境省中部地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	アミメアリ <i>Pristomyrmex punctatus</i> （在来種） トビイロシワアリ <i>Tetramorium tsushimae</i> （在来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	在来種アミメアリ <i>Pristomyrmex punctatus</i> 及びトビイロシワアリ <i>Tetramorium tsushimae</i> とする同定結果を環境省中部地方環境事務所に報告した。
備考	—

依頼元からの資料



16. オオズアリ *Pheidole noda*

対応開始日	2012年9月20日
発見場所・付着物	愛知県犬山市内のホテル1階のトイレ内壁面亀裂箇所（愛知県犬山市）
流通経緯	野外分布
発見状況	愛知県犬山市内のホテル1階にあるトイレ内壁面と床面の間の亀裂箇所からアリが確認され、犬山市生活環境部公園緑地課にセロテープにつけたアリ6匹が持ち込まれた。隣接する岐阜県各務原市に生息分布しているアルゼンチンアリではないかと思い、愛知県尾張県民事務所環境保全課を通して環境省中部地方環境事務所へ問い合わせがあった。犬山市公園緑地課へアリの同定に係る参考資料として「アルゼンチンアリに注意」のパンフレットをメールで送付した。その後、犬山市公園緑地課からアリの写真（犬山市公園緑地課撮影）が送付され、一般財団法人自然環境研究センターへ同定依頼を行った。
依頼元	発見者（ホテル内宿泊者）→ホテル職員→犬山市生活環境部公園緑地課→愛知県尾張県民事務所環境保全課→環境省中部地方環境事務所
依頼方法	写真及び検体（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	オオズアリ <i>Pheidole noda</i> （在来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	在来種オオズアリ <i>Pheidole noda</i> とする同定結果を環境省中部地方環境事務所に報告した。
備考	発見された、トイレの壁の亀裂部分にアリ専用の殺虫剤を散布し、シリコン材を注入して亀裂を埋めた。以後、同様のアリは発見されていない。なお、検体（標本）については、直接犬山市生活環境部公園緑地課よりお送りいただいた。

依頼元からの資料



17. ルリアリ *Ochetellus glaber*

対応開始日	2012年10月22日
発見場所・付着物	民家内（福岡市東区香椎）
流通経緯	野外分布
発見状況	福岡市東区香椎は福岡市の東部に位置し、発見者の自宅は「香椎神宮」近くの閑静な住宅地で、周辺には照葉樹林の森が残されている。自宅は一戸建てで庭がある。その庭には複数のアリが生息しており、そのうち比較的小さいアリが夏季を中心に自宅の床上等に侵入し、食べ物に群がる様子がしばしばみられた。今回、菓の包装に穴をあけて群がっていたアリの袋ごと捕獲したものを九州地方環境事務所へ郵送したものである（発見者からの電話による情報を基に取りまとめた。）。
依頼元	発見者（一般個人）→環境省九州地方環境事務所
依頼方法	検体（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	ルリアリ <i>Ochetellus glaber</i> （在来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	在来種ルリアリ <i>Ochetellus glaber</i> とする同定結果を環境省九州地方環境事務所に報告した。
備考	発見した住民（比較的高齢の女性と思われる）は、アリに対する知識をほとんど持ち合わせていないと思われる。たまたまテレビでアルゼンチンアリに関する特集番組を見て、当該アリはアルゼンチンアリに違いがないと思ひ込み？、当事務所へ駆除に関する照会があったものである。

【昆虫等陸生節足動物（クモ・サソリ類）】

18. ヨシダサヤヒメグモ *Coleosoma floridanum*

対応開始日	2012年6月5日
発見場所・付着物	東京港大井ふ頭コンテナターミナル（東京都品川区八潮） 貨物コンテナ内（園芸植物：ラン類（ミルトニア、シンビジウム等））、 生産地：中華人民共和国
流通経緯	中華人民共和国（上海（SHANGHAI：シャンハイ港））（6／1出港）→東京港大井ふ頭コンテナターミナル（6／4入港）（海上輸送）
発見状況	6月5日16時頃、ラン類（ミルトニア、シンビジウム等）（産地：中華人民共和国）プラスチック入り、モス（水苔培養）を輸送してきたコンテナ内部にて10頭程度の死亡個体が物流会社により発見された。
依頼元	環境省関東地方環境事務所
依頼方法	写真及び現物
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	ヨシダサヤヒメグモ <i>Coleosoma floridanum</i> （外来・在来不明）
法制上のカテゴリ	－
事後対応	ヨシダサヤヒメグモ <i>Coleosoma floridanum</i> とする同定結果と、特定外来生物等には該当しないことを環境省関東地方環境事務所へ報告した。
備考	－

依頼元からの資料



19. オニグモ属の一種 *Araneus* sp.

対応開始日	2012年7月23日
発見場所・付着物	物流会社倉庫内（千葉県市川市原木）
流通経緯	不明。野外分布個体である可能性も考えられる。
発見状況	倉庫にいたものを物流会社職員が発見。
依頼元	発見者（物流会社職員）→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	オニグモ属の一種 <i>Araneus</i> sp.（オニグモ <i>Araneus ventricosus</i> の可能性が高い）（外来・在来不明）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	オニグモ属の一種 <i>Araneus</i> sp. とする同定結果と、特定外来生物等には該当しないことを環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室へ報告した。
備考	—

依頼元からの資料



20. ヒメグモ科の一種 Theridiidae sp.

対応開始日	2012年8月3日
発見場所・付着物	宮崎空港周辺の空港貨物ビル敷地内（宮崎県宮崎市）
流通経緯	不明。在来種の可能性もある。
発見状況	宮崎空港そばの空港貨物ビル敷地内において、航空コンテナ運搬用パレット1基から、下記写真のクモ2頭を発見。宮崎空港では同じ敷地内で特定外来生物ハイイロゴケグモが発見されており、本個体もその疑いがあるため同定依頼がなされたもの。
依頼元	宮崎県自然環境課→環境省九州地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	ヒメグモ科の一種 Theridiidae sp.（ハガタグモ属の一種 <i>Enoplognatha</i> sp. の可能性が高い）（在来・外来不明）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	ヒメグモ科の一種 Theridiidae sp. とする同定結果と、特定外来生物等には該当しないことを環境省九州地方環境事務所へ報告した。
備考	同定前に、念のため管理会社が発見場所周辺の消毒を実施

依頼元からの資料



21. オオヒメグモ属の一種 *Parasteatoda* sp.

対応開始日	2012年9月7日
発見場所・付着物	福岡県福岡市内
流通経緯	野外分布
発見状況	福岡県内で発生したセアカゴケグモによる咬傷事故を受けて、福岡市が緊急に市内の公園などの調査を実施した際に、発見された。
依頼元	福岡市→環境省九州地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	(一財)自然環境研究センター
判明種	オオヒメグモ属の一種 <i>Parasteatoda</i> sp. (在来種)
法制上のカテゴリ	—
事後対応	在来種オオヒメグモ属の一種 <i>Parasteatoda</i> sp. とする同定結果を環境省九州地方環境事務所に報告した。
備考	写真のみからは確実な種までの同定は難しいが、おそらくオオヒメグモ <i>Parasteatoda tepidariorum</i> と考えられる。

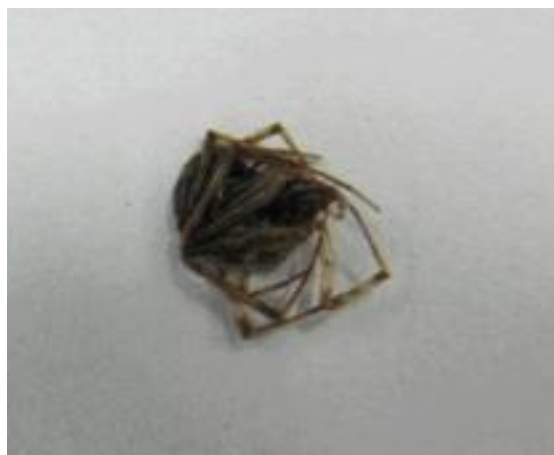
依頼元からの資料



22. ヒメグモ科の一種 Theridiidae sp.

対応開始日	2012年9月19日
発見場所・付着物	民家屋内（埼玉県上尾市）
流通経緯	野外分布
発見状況	9月15日の午後7頃、民家内にクモがいるのを発見し捕殺した。ゴケグモ類である可能性が考えられたため、環境省関東地方事務所へ連絡した。
依頼元	発見者（一般個人）→環境省関東地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	ヒメグモ科の一種 Theridiidae sp.（在来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	在来種ヒメグモ科の一種 Theridiidae sp. とする同定結果を環境省関東地方環境事務所に報告した。
備考	—

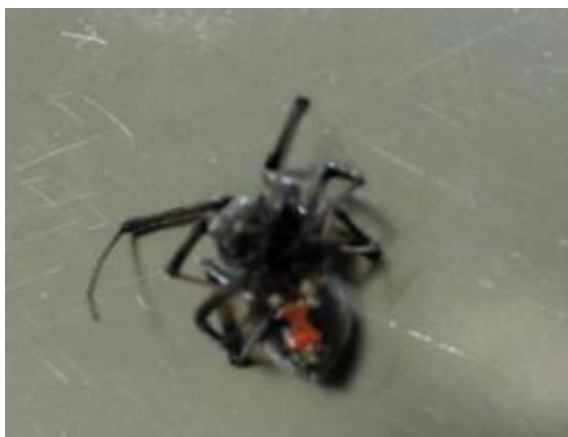
依頼元からの資料



23. ハイイロゴケグモ（黒化型）*Latrodectus geometricus*

対応開始日	2012年9月20日
発見場所・付着物	細島港外周県道沿いのガードレール及び倉庫壁面（宮崎県日向市）
流通経緯	野外分布（2011年10月にハイイロゴケグモが発見された場所）
発見状況	2011年10月にハイイロゴケグモが発見されている宮崎県日向市細島港の周辺部にて9月19日に追跡調査を実施した。その結果、細島港の外周を走る県道沿いのガードレール及び倉庫壁面等にて、ハイイロゴケグモの成虫20匹を発見し、捕獲した。捕獲したクモを確認した所、クロゴケグモの疑いのある1個体が紛れて捕獲されていたため同定を依頼した。
依頼元	宮崎県自然環境課→環境省九州地方環境事務所
依頼方法	写真及び検体（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター、谷川明男（東京大学）
判明種	ハイイロゴケグモ（黒化型） <i>Latrodectus geometricus</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	特定外来生物ハイイロゴケグモ（黒化型） <i>Latrodectus geometricus</i> とする同定結果を宮崎県自然環境課及び環境省九州地方環境事務所に報告した。
備考	検体（標本）については、直接宮崎県自然環境課よりお送りいただいた。

依頼元からの資料



24. オオヒメグモ属の一種 *Parasteatoda* sp.

対応開始日	2012年11月7日
発見場所・付着物	東平尾公園のテニス場周辺（福岡市博多区東平尾公園）
流通経緯	野外分布
発見状況	福岡市が実施した調査でハイログモの疑いのあるクモ4タイプを発見し、捕獲した。
依頼元	福岡市職員→環境省九州地方環境事務所福岡事務所→環境省九州地方環境事務所
依頼方法	写真（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	オオヒメグモ属の一種 <i>Parasteatoda</i> sp.（在来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	在来種オオヒメグモ属の一種 <i>Parasteatoda</i> sp. とする同定結果を環境省九州地方環境事務所に報告した。
備考	オオヒメグモ <i>P. tepidariorum</i> 、カグヤヒメグモ <i>P. culicivora</i> のどちらかであると思われる。両種の同定には交尾器の状態他を観察する必要があり、写真からは判定できなかった。

依頼元からの資料



25. セアカゴケグモ *Latrodectus hasseltii*

対応開始日	2012年11月12日
発見場所・付着物	民家の庭に設置された散水栓内部（神奈川県川崎市長尾）
流通経緯	野外分布
発見状況	2012年11月12日の午後10時頃、自宅庭に設置している散水栓内部に営巣していたメス1個体と複数の卵嚢を住宅の住民が発見し、川崎市に連絡した。
依頼元	発見者（一般個人）→川崎市役所→環境関東地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	セアカゴケグモ <i>Latrodectus hasseltii</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	特定外来生物セアカゴケグモ <i>Latrodectus hasseltii</i> とする同定結果を環境省関東地方環境事務所に報告した。
備考	—

依頼元からの資料



26. オオヒメグモ属の一種 *Parasteatoda* sp.

対応開始日	2012年11月13日
発見場所・付着物	鹿児島県志布志市
流通経緯	野外分布
発見状況	野外にて一般住民が発見、捕獲した。
依頼元	発見者（一般個人）→鹿児島県自然保護課→環境省九州地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	（一財）自然環境研究センター、鹿児島県立博物館
判明種	オオヒメグモ属の一種 <i>Parasteatoda</i> sp.（在来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	在来種オオヒメグモ属の一種 <i>Parasteatoda</i> sp. とする同定結果を環境省九州地方環境事務所に報告した。
備考	写真のみからは確実な種までの同定は難しいが、おそらくオオヒメグモ <i>Parasteatoda tepidariorum</i> と考えられる。

依頼元からの資料



27. ゴケグモ属の一種 *Latrodectus* sp.

対応開始日	2012年11月15日
発見場所・付着物	キャンプ・キンザー（沖縄県浦添市） コンテナ内
流通経緯	アメリカ合衆国
発見状況	アメリカ海軍関係者が、軍船舶によって運ばれてきたコンテナの内部にて1個体を発見した。
依頼元	在沖縄アメリカ海軍→環境省那覇自然環境事務所
依頼方法	写真と検体（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター、谷川明男氏（東京大学）
判明種	ゴケグモ属の一種 <i>Latrodectus</i> sp.（外来種）
法制上のカテゴリ	未判定外来生物
事後対応	未判定外来生物ゴケグモ属の一種 <i>Latrodectus</i> sp.（ハイイロゴケグモ及びセアカゴケグモ、および南西諸島に在来のアカオビゴケグモとは異なるゴケグモ属の1種）とする同定結果を環境省那覇自然環境事務所に報告した。
備考	コンテナについては米軍関係者により燻蒸処理が実施された。

依頼元からの資料



28. ハイイロゴケグモ *Latrodectus geometricus*

対応開始日	2012年11月30日
発見場所・付着物	企業の敷地内に置かれていた足場（愛知県半田市潮干町内）
流通経緯	野外分布
発見状況	11月21日午前中、企業関係者によって半田市潮干町内の敷地内に置かれていた足場（建設用）の上で1個体が発見、捕殺された。 11月26日、半田市環境課より中部地方環境事務所へ捕殺個体の同定依頼があり、検体の送付依頼をした。11月30日、中部地方環境事務所に到着。自然環境研究センターへ送付した。
依頼元	発見者（企業関係者）→愛知県半田市環境課→環境省中部地方環境事務所
依頼方法	検体（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	ハイイロゴケグモ <i>Latrodectus geometricus</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	特定外来生物ハイイロゴケグモ <i>Latrodectus geometricus</i> とする同定結果を環境省中部地方環境事務所に報告した。
備考	サンプルは腹面の確認ができない状態であったが、体色（特に脚の部分）から特定外来生物ハイイロゴケグモ <i>Latrodectus geometricus</i> の未成熟のメス個体と同定した。

29. シロホシヒメグモ *Steatoda grossa*

対応開始日	2012年12月14日
発見場所・付着物	神奈川県藤沢市辻堂東海岸
流通経緯	野外分布
発見状況	一般個人が発見し、捕殺した個体を藤沢市へ届けた。
依頼元	発見者（一般個人）→藤沢市保健所生活衛生課→環境省関東地方環境事務所
依頼方法	写真と検体（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	シロホシヒメグモ <i>Steatoda grossa</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	外来種シロホシヒメグモ <i>Steatoda grossa</i> とする同定結果と、外来種ではあるが特定外来生物等には該当しないことを環境省関東地方環境事務所へ報告した。
備考	本種は、普通腹部に白色紋を持つため一見してゴケグモ類との区別がつくものの、この個体は全身黒色の個体であったため種の判別が分かりづらい個体であった。

依頼元からの資料



30. オオヒメグモ属の一種 *Parasteatoda* sp.

対応開始日	2012年12月26日
発見場所・付着物	民家（マンション）の敷地内に放置されたタイヤ内（神奈川県川崎市麻生区）
流通経緯	野外分布
発見状況	住民によって、民家（マンション）の敷地内に放置されたタイヤ内にて発見、捕獲され、保健所に持ち込まれた。
依頼元	発見者（一般個人）→川崎市健康福祉局健康安全室→環境省関東地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	オオヒメグモ属の一種 <i>Parasteatoda</i> sp.（在来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	在来種オオヒメグモ属の一種 <i>Parasteatoda</i> sp. とする同定結果を環境省関東地方環境事務所に報告した。
備考	—

依頼元からの資料



31. オオヒメグモ属の一種 *Parasteatoda* sp.

対応開始日	2012年12月26日
発見場所・付着物	民家のガレージ内に置かれたダンボール箱内(神奈川県川崎市多摩区)
流通経緯	野外分布
発見状況	住民によって、民家のガレージ内に置かれたダンボール箱内にて発見、捕獲され、保健所に持ち込まれた。
依頼元	発見者(一般個人)→川崎市健康福祉局健康安全室→環境省関東地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	(一財)自然環境研究センター
判明種	オオヒメグモ属の一種 <i>Parasteatoda</i> sp. (在来種)
法制上のカテゴリ	—
事後対応	在来種オオヒメグモ属の一種 <i>Parasteatoda</i> sp. とする同定結果を環境省関東地方環境事務所に報告した。
備考	—

依頼元からの資料



32. ハイイロゴケグモ *Latrodectus geometricus*

対応開始日	2013年1月10日
発見場所・付着物	香椎浜公園（福岡県福岡市東区） グレーチング内
流通経緯	野外分布
発見状況	平成25年1月10日（木）15時頃、福岡市職員がゴケグモ類の生息状況調査の際に福岡市東区にある香椎浜公園のグレーチング内で当該クモを発見した。なお、発見したクモ類は1匹で、卵のうやセアカゴケグモ等は発見されなかった。
依頼元	福岡市東区役所生活環境課→九州地方環境事務所福岡事務所
依頼方法	写真及び標本
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	ハイイロゴケグモ <i>Latrodectus geometricus</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	特定外来生物ハイイロゴケグモ <i>Latrodectus geometricus</i> とする同定結果を環境省九州地方環境事務所に報告した。
備考	—

依頼元からの資料



33. セアカゴケグモ *Latrodectus hasseltii*

対応開始日	2013年1月23日
発見場所・付着物	工場敷地内（茨城県神栖市東和田）
流通経緯	野外分布
発見状況	発電所職員により、発電所敷地内の資材置き場でブロック状の物体内にてクモ類4個体と卵囊5個が発見、捕獲された。
依頼元	発見者（工場職員）→茨城県生活環境部環境政策課→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	セアカゴケグモ <i>Latrodectus hasseltii</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	特定外来生物セアカゴケグモ <i>Latrodectus hasseltii</i> とする同定結果を環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室に報告した。
備考	

依頼元からの資料



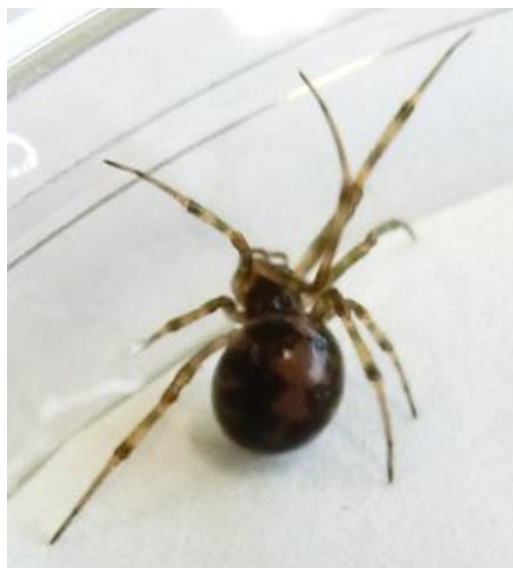
34. ウヅキコモリグモ *Pardosa astigera*

対応開始日	2013年2月28日
発見場所・付着物	民家の玄関（愛知県半田市）
流通経緯	野外分布
発見状況	自宅のお風呂場や玄関でクモ2～3回確認し、毒をもったクモかもしれないと思われ、玄関にいた個体2個体を捕殺し、保健所へ問い合わせたが、わからないとのこと、保健所からの紹介を受け、環境省中部地方環境事務所へ問い合わせた。検体2個体はは、つぶれないよう容器に入れる等して環境省中部地方環境事務所あて送付依頼をしたところ、翌日、速達でサンプルが届き、同日中、一般財団法人自然環境研究センターへ送付、同定依頼を行った。
依頼元	発見者（一般個人）→愛知県半田市保健所→環境省中部地方環境事務所
依頼方法	検体（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	ウヅキコモリグモ <i>Pardosa astigera</i> （在来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	在来種ウヅキコモリグモ <i>Pardosa astigera</i> とする同定結果を環境省中部地方環境事務所に報告した。
備考	2個体ともオスの亜成体個体。なお、ウヅキは卵月に由来するもので、その頃成虫が出てくることに由来する。

35. オオヒメグモ属の一種 *Parasteatoda* sp.

対応開始日	2013年3月7日
発見場所・付着物	民家（アパート）の室内（栃木県足利市大月町）
流通経緯	野外分布
発見状況	1ヶ月前ほどに部屋内で発見していたが、よく見るとセアカゴケグモ似ていたことから3個体を捕獲し、保健所へ通報し持ち込んだ。
依頼元	発見者（一般市民）→保健所→栃木県環境森林部自然環境課→環境省関東地方環境事務所
依頼方法	検体（標本）
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	オオヒメグモ属の一種 <i>Parasteatoda</i> sp.（在来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	在来種オオヒメグモ属の一種 <i>Parasteatoda</i> sp. とする同定結果を環境省関東地方環境事務所に報告した。
備考	—

依頼元からの資料



36. キョクトウサソリ科の一種 Buthidae sp.

対応開始日	2012年7月26日
発見場所・付着物	インターネットオークションサイト
流通経緯	—
発見状況	インターネットオークションサイトにキョクトウサソリが出品されているとの情報が、一般の方からあった。
依頼元	発見者（一般個人）→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	キョクトウサソリ科の一種 Buthidae sp.（ <i>Androctonus</i> 属の可能性が高い）（外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	特定外来生物キョクトウサソリ科の一種 Buthidae sp. とする同定結果を環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室へ報告した。
備考	オークションサイトの管理会社に連絡し、出品の停止・削除を依頼した。

37. *Pandinus* 属の一種 *Pandinus* sp.

対応開始日	2012年8月30日
発見場所・付着物	インターネットオークションサイト
流通経緯	—
発見状況	インターネットオークションサイトにキョクトウサソリが出品されているとの情報が、一般の方からあった。
依頼元	発見者（一般個人）→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	<i>Pandinus</i> 属の一種 <i>Pandinus</i> sp.（ダイオウサソリ <i>Pandinus imperator</i> の可能性が高い）（外来種）
法制上のカテゴリ	—
事後対応	—
備考	タンザニアから輸入されたものとの情報あり。

【陸生節足動物を除く無脊椎動物（甲殻類）】

38. ベンケイガニ科の一種 Sesarmidae Gen. sp.

対応開始日	2012年6月18日
発見場所・付着物	門司港（福岡県北九州市門司区） コンテナ内部（竹・ラタン細工製品）
流通経緯	中華人民共和国（詳細不明）（6/10出港）→門司港（6/16入港）
発見状況	竹・ラタン細工製品を輸送してきたコンテナ内部にいるところを物流会社職員により発見された。
依頼元	発見者（物流会社職員）→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	ベンケイガニ科の一種 Sesarmidae Gen. sp.（外来・在来不明）
法制上のカテゴリ	－
事後対応	ベンケイガニ科の一種 Sesarmidae Gen. sp.とする同定結果と、特定外来生物等には該当しないことを依頼元の物流会社へ報告した。
備考	－

依頼元からの資料



【植物】

39. オオキンケイギク *Coreopsis lanceolata* 若しくはホソバハルシャギク *Coreopsis grandiflora* の園芸品種

対応開始日	2012年5月25日
発見場所・付着物	店舗にて販売（農産物直売所）（岐阜県）
流通経緯	直売所に持ち込んだ農家の方によって栽培された個体
発見状況	直売所の担当者により、特定外来生物「オオキンケイギク」ではないかとする連絡が岐阜県岐阜農林事務所に入り、同定依頼が行われた。
依頼元	発見者（一般個人）→岐阜県岐阜農林事務所→環境省中部地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> 若しくはホソバハルシャギク <i>Coreopsis grandiflora</i> の園芸品種（外来種）
法制上のカテゴリ	種類名証明書の添付が必要な生物以上
事後対応	園芸品種であることから形態での識別は困難なため、種子の購入先を特定し、正確な品種名を確認するように指示。生産者へ確認した結果、購入したものではなく、品種等は不明ということが判明した。生産数は10鉢程と少なく、業者の自主的な判断で、結果がわかる前に自主的に廃棄処分された。
備考	—

依頼元からの資料



40. オオキンケイギク *Coreopsis lanceolata*

対応開始日	2012年5月28日
発見場所・付着物	路傍（宮崎県小林市種子田地区）
流通経緯	野外分布
発見状況	宮崎県西諸県農業改良普及センターより、宮崎県小林市種子田地区の路傍にて、特定外来生物「オオキンケイギク」の疑いのある植物が確認されたとして、検体が採取された。
依頼元	西諸県農業改良普及センター→環境省九州地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	形態から種を確定することは困難であるものの、野外における逸出個体であるならば、特定外来生物オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> とすることが妥当であるという判断を環境省九州地方環境事務所へ報告した。また、ホソバハルシャギク <i>Coreopsis grandiflora</i> であっても侵略的と判断した海外論文もあり、取扱いには注意が必要であることも合わせて報告した。
備考	—

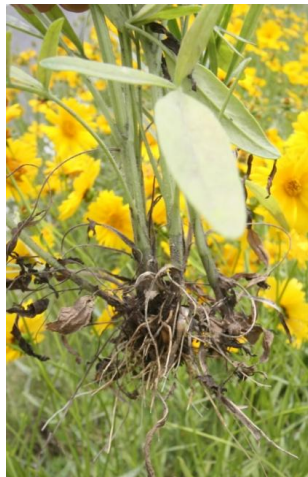
依頼元からの資料



41. オオキンケイギク *Coreopsis lanceolata*

対応開始日	2012年6月4日
発見場所・付着物	県道沿い路傍（三重県南牟婁郡御浜町志原）
流通経緯	野外分布
発見状況	中日新聞・熊野通信局記者が三重県熊野市、御浜町、紀宝町へみかんの取材に行かれた際、3市町の道路沿いや田んぼのあぜに分布していた植物について、住民から外来種ではないかとの声を聞いた。そのため、三重県南牟婁郡御浜町志原の県道沿いに生育していた植物の写真を同定依頼用に撮影した。
依頼元	新聞記者→環境省中部地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	(財) 自然環境研究センター
判明種	オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> (外来種)
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	写真の形態、生育状況から判断して、特定外来生物オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> とすることが妥当であるという判断を環境省中部地方環境事務所へ報告した。
備考	中日新聞（2012年6月6日付け）に関連記事が掲載された。

依頼元からの資料



（記）植物情報部

生後に根際を及ぼすある「特定外来生物」のオオキンケイギクが、御浜町志原地区に急激に生息域を拡大していることが分かった。花はコスコスに美しく、栽培する苗が科される可能性あり、環境省中部地方環境事務所が注意を呼び掛けている。

（小柳 浩二）

美しい花でも栽培しないでも

オオキンケイギク 紀南で生息域急拡大
環境省が注意呼び掛け

オオキンケイギクは北米原産の多年草で、高さ三十センチに成長する。国内では観賞目的に十九世紀末に持ち込まれ、切花用の花を咲かせ、繁殖力が極めて強い。環境省外来生物法に基づき、栽培や播種、運搬は罰則禁止されている。御浜町では道路沿いや田んぼのあぜの傍で、既に繁殖し、土壌に根を張り、周囲の植物を駆逐している。特定外来生物でも生息域を拡大していることを知り、市民も御浜町生活環境課の担当者（一）でも特定外来生物として指摘を受けた。一は、観察費用に備わって数が増えたと懸念していた。早急に対処したいと考えている。

熊野古道センターコーディネーターで樹木医の橋本博之は昨年、熊野古道沿いでオオキンケイギクの生息域を調査

査した。紀南だけでなく、尾鷲市や紀北でも生息域が拡大している。世界遺産の熊野古道、熊野神宮や、熊野神社も被害にあう恐れ、早急に対処を要する。

オオキンケイギクを駆除する目的で栽培した場合、個人は三年以下の罰金、法人は一億円以下の罰金科せられる場合がある。駆除する場合、根を断つ必要がある。指導は五月二十七日から六月七日まで実施される。問い合わせは、環境省中部地方環境事務所。

日本の、北島のオオキンケイギクは、オオキンケイギクの生息域を拡大している。環境省は、オオキンケイギクの生息域を拡大していることを知り、市民も御浜町生活環境課の担当者（一）でも特定外来生物として指摘を受けた。一は、観察費用に備わって数が増えたと懸念していた。早急に対処したいと考えている。

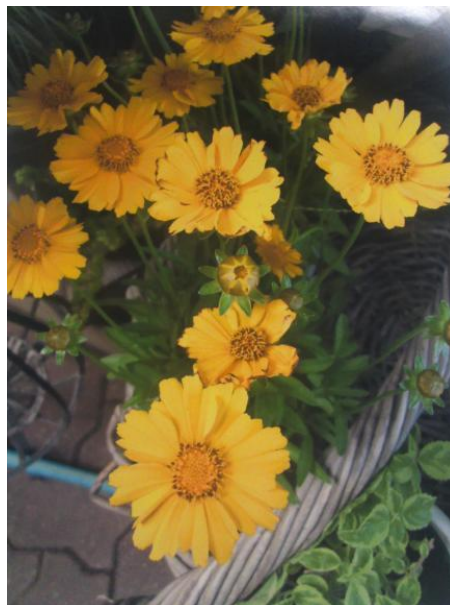
熊野古道センターコーディネーターで樹木医の橋本博之は昨年、熊野古道沿いでオオキンケイギクの生息域を調査

中日新聞記事
(2012年6月6日付)

42. オオキンケイギク *Coreopsis lanceolata* 若しくはホソバハルシャギク *Coreopsis grandiflora* の園芸品種（外来種）

対応開始日	2012年6月11日
発見場所・付着物	店舗にて販売（東京都大田区）
流通経緯	市場流通物を仕入れたものと考えられる
発見状況	一般の方から、警察にキンケイギクの名前で花屋で販売されているとの情報提供があった。
依頼元	発見者（一般個人）→警察→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> 若しくはホソバハルシャギク <i>Coreopsis grandiflora</i> の園芸品種（外来種）
法制上のカテゴリ	種類名証明書の添付が必要な生物以上
事後対応	園芸品種であることから形態での識別は困難なため、オオキンケイギクでない場合には、販売、製造元に正確な種名を明記するよう、環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室へ指導を依頼した。その上で環境省より依頼元（警察）へ報告した。
備考	標準和名のキンケイギク <i>Coreopsis basalis</i> (<i>C. drummondii</i>) は一年草なので、写真にある「宿根草」には該当しない。形態的にも、キンケイギクは写真の植物のように根生葉が多くなく、小葉の形が写真のものより幅が広い卵形をしている。 オオキンケイギク <i>C. lanceolata</i> 、または近縁種のホソバハルシャギク（グランディフローラ） <i>C. grandiflora</i> などの園芸品種の可能性はあるが、形態的な特徴からはオオキンケイギクである可能性を否定できない。

依頼元からの資料



43. オオキンケイギク *Coreopsis lanceolata*

対応開始日	2012年6月13日
発見場所・付着物	アパートの敷地内（東京都大田区）
流通経緯	野外分布
発見状況	一般の方から、警察に情報提供があった。
依頼元	発見者（一般個人）→警察→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i>
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	水やりなどをせずに（世話をすると「栽培」に該当するため）、できれば引き抜いて処分するよう、環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室へ指導を依頼した。その上で環境省より依頼元（警察）へ報告した。
備考	花のみの写真で同定は困難であったが、後方に映っている葉の様子からはオオキンケイギクが疑われた。

依頼元からの資料



44. オオキンケイギク *Coreopsis lanceolata*

対応開始日	2012年6月13日
発見場所・付着物	公園の敷地内（東京都大田区）
流通経緯	野外分布
発見状況	一般の方から、警察に情報提供があった。
依頼元	発見者（一般個人）→警察→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	水やりなどをせずに（世話をすると「栽培」に該当するため）、できれば引き抜いて処分するよう、環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室へ指導を依頼した。その上で環境省より依頼元（警察）へ報告した。
備考	花のみの写真で同定は困難であったが、後方に映っている葉の様子からはオオキンケイギクが疑われた。

依頼元からの資料



45. オオキンケイギク *Coreopsis lanceolata*

対応開始日	2012年6月13日
発見場所・付着物	民家の敷地内（東京都大田区）
流通経緯	野外栽培
発見状況	一般の方から、警察に情報提供があった。
依頼元	発見者（一般個人）→警察→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i>
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	水やりなどをせずに（世話をすると「栽培」に該当するため）、できれば引き抜いて処分するよう、環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室へ指導を依頼した。
備考	花のみの写真で同定は困難であったが、後方に映っている葉の様子からはオオキンケイギクが疑われた。

依頼元からの資料



46. オオキンケイギク *Coreopsis lanceolata* 若しくはホソバハルシャギク *Coreopsis grandiflora* の園芸品種

対応開始日	2012年6月13日
発見場所・付着物	店舗にて販売（東京都大田区）
流通経緯	市場流通物を仕入れたものと考えられる。
発見状況	一般の方から、警察に情報提供があった。
依頼元	発見者（一般個人）→警察→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> 若しくはホソバハルシャギク <i>Coreopsis grandiflora</i> の園芸品種（外来種）
法制上のカテゴリ	種類名証明書の添付が必要な生物以上
事後対応	園芸品種であることから形態での識別は困難なため、オオキンケイギクでない場合には、販売、製造元に正確な種名を明記するよう、環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室へ指導を依頼した。その上で環境省より依頼元（警察）へ報告した。
備考	オオキンケイギクまたはホソバハルシャギクの矮生品種が疑われた。

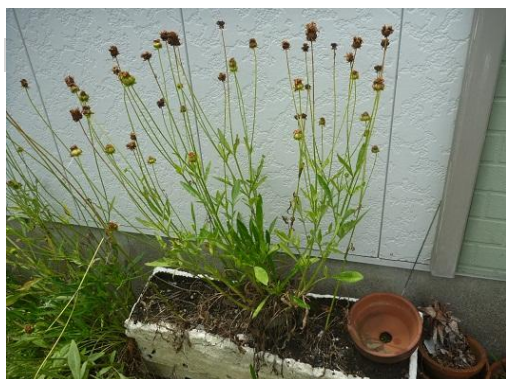
依頼元からの資料



47. オオキンケイギク *Coreopsis lanceolata*

対応開始日	2012年6月18日
発見場所・付着物	民家（アパート）の敷地内（岐阜県羽島市）
流通経緯	屋外栽培（プランター内）
発見状況	6月14日、一般の方から岐阜県清流の国ぎふづくり推進課を通して羽島市内にあるアパートの敷地内で大家さんがオオキンケイギクを栽培している旨の情報提供があった。大家さんの連絡先が不明のため、6月18日、現地を確認したところ、花が咲き種子ができている状態であった。大家さん宅は留守であったため、近所の方に地域のゴミ収集について聞き取り、帰所後、写真の同定依頼を行った。
依頼元	発見者（一般個人）→岐阜県清流の国ぎふづくり推進課→環境省中部地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	形態等から判断して、特定外来生物オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> とすることが妥当であるという判断を環境省中部地方環境事務所へ報告した。既に種子が成熟している様子から、分布拡大しないうちに、早めに処分して頂くよう、環境省中部地方環境事務所野生生物課を通じて依頼した。現地確認日の夕方、この件について、一般者から情報提供があった旨、岐阜県羽島市農政課より電話があり、現地確認を行った旨伝え、別途、同定結果についても連絡した。大家さんの連絡先、アパートの一般廃棄物の収集業者の廃掃法に基づく許可について、羽島市農政課に御協力いただいて、6/19夕方、大家さんにオオキンケイギクの駆除の依頼を行った。駆除方法は、生ごみの袋に入れ、外来生物法施行規則第2条第14号に基づき、飼養等の禁止の適用除外による廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく廃棄物の運搬・保管の許可を受けた事業者による処理となる。
備考	—

依頼元からの資料



48. オオキンケイギク *Coreopsis lanceolata*

対応開始日	2012年6月19日
発見場所・付着物	路傍（岐阜県羽島市舟橋町）
流通経緯	野外分布
発見状況	岐阜県羽島市がHPに掲載し注意喚起するための写真として同定を依頼。
依頼元	岐阜県羽島市経済部農政課→環境省中部地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	写真の形態、生育状況から判断して、特定外来生物オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> とすることが妥当であると判断を環境省中部地方環境事務所に報告した。
備考	花の色や形態、茎葉の形態、株立ちの状況、生育環境から、日本で広くオオキンケイギクとして野外で生育しているもので、やや葉が細いタイプのもと考えられた。すでに一部の種子が、成熟しつつあることが認められた。

依頼元からの資料



49. オオキンケイギク *Coreopsis lanceolata*

対応開始日	2012年7月5日
発見場所・付着物	ひるがの高原牧歌の里敷地内（岐阜県上市高鷲町）
流通経緯	野外分布
発見状況	一般の方から、ホームページにオオキンケイギクがキンケイギクの名前で紹介されているとの情報提供があった。
依頼元	発見者（一般個人）→環境省中部地方環境事務所
依頼方法	写真
同定者	（一財）自然環境研究センター
判明種	オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> （外来種）
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	キンケイギクではなく、特定外来生物のオオキンケイギクであるとする同定結果を中部地方環境事務所へ報告した。その結果、栽培を中止し処分された。
備考	標準和名のキンケイギク <i>Coreopsis basalis</i> (<i>C. drummondii</i>)は、現在の日本の野外ではほとんど生育していない。形態的には、キンケイギクは舌状花の基部と筒状花が紫褐色をしている。キンケイギクの葉の裂片は卵形で、オオキンケイギクに比べてより幅が広い。キンケイギク是一年草なので、写真の株のように根元からたくさんの茎がまとまって叢生することはない。 日当たりの良い路傍に多数生育していることから、日本各地で問題となっている特定外来生物のオオキンケイギクと判断される。

依頼元からの資料



50. オオハンゴンソウ *Rudbeckia laciniata*

対応開始日	2012年9月7日
発見場所・付着物	店舗にて販売（兵庫県）
流通経緯	自家採種、自家育苗したものが市場に流通したものと考えられる
発見状況	オオハンゴンソウが鉢植えで「ルドベキア」として販売されているとの情報提供があった。
依頼元	発見者（一般個人）→環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室
依頼方法	写真
同定者	（財）自然環境研究センター
判明種	オオハンゴンソウ <i>Rudbeckia laciniata</i>
法制上のカテゴリ	特定外来生物
事後対応	特定外来生物のオオハンゴンソウであるとする同定結果を環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室へ報告した。その後、近畿地方環境事務所から販売元・流通元に対し、指導を行った。
備考	開花期（7～10月）、花の形態（やや下向きに疎らにつく黄色い舌状花と、黄緑色の管状花）、葉の形態（茎の上の方の葉は裂けないが、下の方の葉が5～7枚の裂片に分かれる）、全体の大きさ（高さ1～3m）から、特定外来生物のオオハンゴンソウと判断される。

依頼元からの資料

